

9月15日敬老の日

郷土の礎を築いた お年寄りに感謝 100歳おめでとう

9月12日、町では15日の敬老の日に関連して、今年度100歳を迎える工藤キクさん(清水区)と賀上タツミさん(温区)の二人に、長崎良夫町長から長寿のお祝いが渡されました。工藤キクさんは、明治41年の10月17日秋田県生まれ。現在養護老人ホーム幸生園に入所しています。

0歳を祝いました。工藤さんは耳は遠いが、歩行器で施設内を歩き、普段の生活も自分で行うなど、まだまだお元氣の様子です。賀上タツミさんは、明治42年3月25日福島県生まれ。同日、自宅に長崎町長が訪れ、長寿のお祝いを渡し、家族の皆さんといつしよに100歳を祝いました。現在は、お一人で住んでいて、隣にいる娘さんらがお世話をされています。



賀上タツミさん(中央)と家族の皆さん



工藤キクさん(中央)と施設関係者の皆さん

賀上さんもう食きさんと食へ、足腰もまだしっかりされています。100歳おめでとうおめでとうございます。

泉区长寿まつり 地域のお年寄りを祝う

今年も9月15日の敬老の日にちなみ、町内の各自治会で長寿を祝う会が催され、地域のお年よりの長寿をお祝いしました。

9月14日には、泉区主催の「長寿まつり」が開かれ、対象となる75歳以上のお年寄り約30人が参加しました。

主催者の挨拶の後、参加者を代表して石田卓さん(79歳)が「後期高齢者などといういやな言葉を耳にするが、これからもどうと胸をはって生きていきたい」と元気に挨拶し、宴に入りました。

参加者らは、ごちそうを食べながら、昔話に花をさかせていました。



盛り上がった泉区长寿まつり